



新村の人口・世帯数	令和8年7月1日現在
世帯数	1,352戸
男	1,495人
女	1,571人
合計	3,066人

新村公民館増築工事竣工

新村公民館の増築工事が終了し、7月から新しい会議室が利用可能になりました。

増築の経過は、平成28年に市が策定した「松本市公共施設等総合管理計画」に基づき公共施設の総量が見直されることとなり、令和3年3月策定の「松本市個別施設計画」で新村多目的研修センターの除却の方針

が示されました。

これを受けて地区では、研修センターが公民館と一体的に活用されている現状からセンター除却後も住民サービスの低下とならぬよう、公民館の増築を要望したものです。

新しくできた会議室は名称を「1階大会議室」として、定員は65名です。また、他の会議室と異なり、下足のまま利用できます。ぜひ多くの皆さんの積極的な活用をお願いします。



「お」「は」「し」「も」

6月2日、新村保育園と新村地区あたらしの郷協議会安全安心部会および松本大学による「合同避難訓練」が園児約70名と、保育士、大学生、地区の役員それぞれ約10名計30名が参加して実施されました。

園児たちは地震発生の放送を聞くと、揺れが収まるまで机の下にもぐり、その後、第一避難所である園庭、さらに第二避難所である松本大学のグラウンドへ保育士や地区の役員、大学生の誘導のもと避難をしました。

訓練終了後は保育園のホールで大学生から防災についてのお話を聴き、避難の約束事



大学生らの誘導により大学へ避難



みんなでダンゴムシ体操

訓練に取り組み、真剣に真剣に訓練に取り組む園児たち



真剣に訓練に取り組む園児たち

についての質問には

「お(押さない)」「は(走らない)」「し(しゃべらない)」「も(戻らない)」

と大きな声で答えていました。最後はダンゴムシのように丸くなって頭を守るダンゴムシ体操を全員で踊って終了となりました。

新村はいつからあったのでしょうか。「四天王寺縁起」に、推古3年(595)筑摩郡荒田郷とある「和妙抄」には、荒田の郷は大井郷の前身と記載されています。しかし、確認されがたく「続日本紀」記述の天平6年(734)の方が、実際に則した年代として信憑性が高い。奈良時代には荒田郷五十煙(煙は戸の意、五十戸が一郷)が天王寺に施入されたことが認定されている。▼「美濃国」の刻印須恵器(716、730)が、新村の秋葉原2号墳、真光寺2号墳より出土。安塚8号墳からは鍔帯金具が出土されている。被葬者は在庁官人や地方豪族・郡司級有力者が統治、開発していたと考えられる。▼荒田は新しく拓かれた水田の意である。大井は「大きな堰」を表しており古墳時代末期(7世紀中頃)から水が得にくく未開発の当地域に水路が作られ、開発が始まったと考えられる。▼応永7年(1400)春近領新村南方。延宝2年(1674)より新村五か村の記述がある。この地の歴史はとても古いのだ。

穂束八

新村はいつからあったのでしょうか。「四天王寺縁起」に、推古3年(595)筑摩郡荒田郷とある「和妙抄」には、荒田の郷は大井郷の前身と記載されています。しかし、確認されがたく「続日本紀」記述の天平6年(734)の方が、実際に則した年代として信憑性が高い。奈良時代には荒田郷五十煙(煙は戸の意、五十戸が一郷)が天王寺に施入されたことが認定されている。▼「美濃国」の刻印須恵器(716、730)が、新村の秋葉原2号墳、真光寺2号墳より出土。安塚8号墳からは鍔帯金具が出土されている。被葬者は在庁官人や地方豪族・郡司級有力者が統治、開発していたと考えられる。▼荒田は新しく拓かれた水田の意である。大井は「大きな堰」を表しており古墳時代末期(7世紀中頃)から水が得にくく未開発の当地域に水路が作られ、開発が始まったと考えられる。▼応永7年(1400)春近領新村南方。延宝2年(1674)より新村五か村の記述がある。この地の歴史はとても古いのだ。

よつごそ公民館へ

7月1日、地域学習の一環で芝沢小学校3年生の約70名が新村公民館に見学に来ました。

当初予定されていた6月8日は早朝に熊が目撃されたため中止となり、その振替として今回実施されました。

職員によるものぐさ太郎の紙芝居や、大久保館長からの地区の特色や公民館の仕事についての説明に児童たちは時折、メモを取りながら真剣に聞いていました。

児童からの質問には「ものぐさ太郎の身長は何センチ」「ものぐさ太郎祭りで「なぜお餅を投げるの」などと、素朴で興味深いものもあり、大人も学びにつながるような見学会となりました。

また、児童たちは、当日より利用開始となった1階大会議室の記念すべき初めての利用者となりました。



紙芝居を聞く児童

「自分の心が嬉しくなること」

「新村公民館・アクリル画教室」

毎月第3火曜日の午後、新村公民館で「アクリル画を描こう!」と題した絵画教室が開かれています。

アクリル画は、水で溶かして乾くと耐水性になる「アクリル絵の具」を使用した絵画で、塗り重ねや修正が容易にできるなど、自由度が高いという特徴があります。

本教室では出された課題に取り組むことはなく、各人のペースで自由に組み組むこと、心が嬉しくなるような



梓川アカデミア館にて展示された作品たち

な義務感からも解放された気持ちになることもしばしばあります。活動が更に広まり、定着していくことを願っております。

制作を心がけています。養生とか心の静養、リハビリになるという参加者もおります。

各々が生まれ持った大切な思いや感性に出会うことがあったり、自分の好きなことを表現しているのを見ると、周囲もまた力が湧いてきます。ときに童心に戻ったり、懐かしい人や風景、出来事を回想したり、自分の願いや祈りに気づいたり、日々の固い心がほどけ、様々な

高綱中学生大学で学ぶ



大学の説明を聞く中学生たち

5月28日、松本大学にて大学の講義体験、地域連携の取り組みについて、高綱中学校3年生96名に向けて説明会が行われました。中学生は大学の講義を受けた後、地域連携の取り組みとして、地域づ

くり考房「ゆめ」について知ってもらいました。『ゆめ』に所属する学生から普段、活動している内容ややりがい、成長したところを話しました。真剣に中学生が聞いている様子を見て、地域と関わりたいと思う人が増えたら嬉しいと思いました。



ナイスプレー!



渾身の一打

町会対抗 球技大会開催

5月24日、恒例の町会対抗球技大会が開催されました。昨年は雨天で中止となったソフトボールも無事開催され、ソフトボールとともに白熱した熱戦が繰り広げられました。

大会結果

■ソフトボール	出場10町会
Aコート	優勝・下新北
	準優勝・上新東
Bコート	優勝・北新中
	準優勝・上新西
■ソフトバレー	出場8町会
	優勝・東新
	準優勝・山王
	第3位・下新北

世界に一つだけの インテリアグリーン

「苔玉づくり教室開催」

6月3日、新村公民館で日本ハンキングバスケット協会公認講師の、竹下光重さんをお招きして苔玉作り教室を開催しました。

苔玉とは、植物の根元を土で包み、その表面を苔で覆ったものです。



丁寧に作る

参加者9名は講師の丁寧な指導を受け、苔玉づくりに真剣に取り組みました。完成した苔玉は色や形が一つ一つ異なる、世界で一つだけの作品となりました。